

MEISHO ACTION

Seminar Report

最新のセミナーのダイジェストをお届けします。

Seminar Report

日時 1月23日(火)13:00~13:40

場所 名古屋商工会議所 2階ホール

参加者 104名

中小企業のカーボンニュートラル取り組みイメージ



“価格高騰時代を乗り越える！” カーボンニュートラル・省エネに向けた実践的な取り組み

中小企業がカーボンニュートラルを達成するための取り組みを、具体的な事例を交えてお話しいただきました。



Presentation

㈱フルハシ環境総合研究所
所長

浅井 豊司 氏

担当者や責任者が先導となり、社内全体でCNの意義について理解を深めた上で、現状に即した具体的な施策をスタートさせましょう。

まずは社内体制づくりから！
中小企業が今からできる取り組み

現在カーボンニュートラル（以下：CN）は世界中で叫ばれ、日本政府としても2050年までに温室効果ガス排出量を実質的にゼロ、2030年には2013年比で約50%削減を目指しています。既に、CNに向けた取り組みを行なっている企業は多くありますが、一方で何から取り組んでいけば良いかわからないという声もよく耳にします。CNは、省エネの面でも各企業の収益改善に寄与させながら活動する必要があります。また1企業のみならず、サプライチェーン全体で取り組むことが世界的な潮流となつているため、大企業だけでなく中小企業にとつても課題だと言えます。今回は中小企業がいかにしてCNを達成できるか、事例をご紹介します。

例えば、従業員数30人程度の金属加工業のある企業は、工場のLED化や太陽光パネルなどの設備投資を年単位で行ない、約6年で排出量を50%以上削減しました。また年間電気料金については、当初の66%の削減にも成功しています。設備投資は、経営者の承認なしでは実施できないため、社内全体でCNを目指す体制ができていけると言えます。このように中小企業であっても、社内体制を整え、ふさわしい施策を実施することで、大幅な排出量削減、ひいては生産性向上へも寄与できます。

具体的なステップとしてまずは、社内でCNの担当者を選び、経営トップも含めた社内全体のリテラシー向上を目指した定期的な勉強会の開催をお勧めします。さらに、実施する施策を踏まえた年次ごとの温室効果ガス排出量の推移をロードマップとして示し、社外へも幅広く周知することで、自社の指針を明確に打ち出すことができます。企業価値を高めつつCN達成のための実効性ある行動を「今から」実践していきましょう！

check

名商ホームページ 名商の動き Action

開催した事業やセミナーについて、参加者の声や当日の写真などアップしています。ぜひ、チェックしてみてください！！



詳しくはこちらをご覧ください

